

CHECK!

# 常任委員会 審査レポート

詳しく議案を  
審査します！

総務文教常任委員会 野崎久雄 委員長  
地域クラブ活動推進委員会において  
部活動地域移行の方向性を検討

5号 議第  
三條市立児童館条例の  
一部改正について

無料の児童館利用者と有料の児童館利用者と同時に大崎児童館を利用する場合もある中で、保護者に不公平が生じることはないのか。また、今後の市の直営となるに当たり、児童館利用者と児童クラブ利用者の区分けはするのかが。

児童クラブでは、支援員が付いて生活の場を与えていることから利用料を徴収している。大崎児童館については、これまでも施設の1階と園庭を児童館機能、2階を児童クラブ室として区分けを行っており、今後も同様の対応をしていきたい。

19号 議第  
令和5年度三條市  
一般会計補正予算

地域クラブ活動推進委員会は、どのような委員で構成されるのか。

経済建設常任委員会 坂井良永 委員長  
緊急性等を総合的に判断し農業者への  
支援金を専決処分

19号 議第  
令和5年度三條市  
一般会計補正予算

ふるさと三條応援寄附金推進事業費について、10月に制度が改正されたことによる影響はあるか。

三條市は、返礼品に対する寄附額の引き上げを行っていないものの、寄附額の実績が、9月末までは前年同期に比べ1.7倍であったのに対し、10月以降は前年同月比で0.4倍程度にとどまっている。

制度改正後に寄附額が落ち込んだ要因は何か。

今後詳細な分析を行い、その落ち込みを最小限に抑える、あるいは上昇に転じるよう取り組んでいきたい。

1号 報第  
専決処分報告について  
(令和5年度三條市一般会計補正予算)

専決処分とするには、金額が大き過ぎるのではないか。

困窮する農業者に対し、一日も早く



付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

学識経験者として部活動の地域移行に関して造詣が深い大学教授や中学校校長会の代表者、また市のPTA連合会の推薦による小中学生の保護者、加えてスポーツと文化芸術の各団体をお願いしたいと考えている。

部活動地域移行の今後の方向性を検討するのであれば、委員の一般公募も検討に値するのではないかと。

一般公募による視点については、小中学生の保護者の代表として参加するPTA連合会からご意見をいただけるものと認識している。



付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

支援金を交付するため、臨時の特別な措置が必要であった。金額の多寡ではなく、緊急性等を総合的に判断し、今回の専決処分に至った。

支援金の交付に係る事務の進捗状況はどうか。

12月4日から受け付けを行っており、11日現在で1500件ほどの申請があった。8日までに受け付けた分は年内の交付を、11日以降に受け付けた分は年内または1月早々の交付を目指し、順次手続きを進めている。

市民福祉常任委員会 森山昭 委員長  
三條市槻の森斎苑の新たな指定管理者  
などについて審査

10号 議第  
三條市槻の森斎苑の指定  
管理者の指定について

指定管理者候補者は設立から8年しかたっていない。経験不足の心配はないか。

前身の会社から火葬業務の部門を分割し設立されており、経験年数は問題ないと考えている。

毎年火葬炉を修繕している。メンテナンスなどは適切に引き継げるのか。

当施設の火葬炉の導入事例は全国でも数カ所だが、指定管理者候補者はメーカーと協定を締結しており、他の導入事例のうち4カ所の指定管理者となっていることから、十分に運営できると判断した。

19号 議第  
令和5年度三條市  
一般会計補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種事業費の予防接種事故救済給付負担金について、市が国に進達した

健康被害で認定されなかったものがあるか。

23号 議第  
令和5年度三條市  
一般会計補正予算

物価高騰の影響を受ける市民税非課税世帯等への給付金は、いつ市民に届くのか。

前回の給付を受けている人にはプッシュ式で1月下旬に給付し、その後、それ以外の人には確認書や申請書を提出してもらった上で給付する予定。



付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

## 行政 視察報告 ぎいん見聞録



総務文教常任委員会  
令和5年10月31日、11月2日

自主防災組織の活動を支援し、  
地域防災力の向上を図る  
自主防災組織ランクアップの取り組みについて(石川県小松市)

小松市では、防災士・しみん救護員の育成、防災訓練ステップアップマニュアルの作成などの取り組みに加え、自主防災組織のさらなるレベルアップに向けて、訓練内容の充実および訓練実施率の向上を図ることを目的に、自主防災組織評価制度である自主防災組織ランクアッププランを作成している。自主防災組織の活動についての支援を充実させ、具体的な活動を後押しするための実効性のある施策を行っている。

当市においても高齢化の進展や中山間部の過疎化、人口減少の中で、災害被害を軽減する大きな力となる地域コミュニティの防災機能が果たす役割は、今後ますます大きくなっていくことが考えられる。将来にわたる災害に強いまちであり続けるために、自主防災組織の組織率向上と強化について、今後も調査研究を重ねていく。



小松市役所

